

|      |  |            |   |    |      |              |
|------|--|------------|---|----|------|--------------|
| 科目名  | 看護研究方法論Ⅱ<br>Nursing Research Ⅱ   |            | 科目区分  | 共通 | 単位数  | 2単位          |
| 教員名  | 高橋佳子, 山本弘江, 大橋渉  |            | 必修・選択   | 選択 | 開講年次 | 第1学年         |
|      |  |            |   |    | 開講学期 | 前学期          |
| 科目概要 | 看護研究方法Ⅰを基盤として、具体例を通じて量的研究デザイン及び質的研究デザインの計画立案に向けて方法論について学修する。また、量的研究デザイン及び質的研究デザインの研究方法について具体的方法を学修し、自身の研究課題への適応を目指す。<br>本科目はDPとして、高度専門職者として優れた能力ないし教育・研究活動に貢献できる能力に対応するものである。  |            |   |    |      |              |
| 目標   | 1 量的な研究デザイン及び質的研究デザインの種類とそれぞれに対応した研究方法を理解し、説明できる。<br>2 研究疑問に適した研究デザイン、研究手法の選択、データ収集方法・分析方法の基本を理解し、適用できる。   |            |   |    |      |              |
| 内 容  | 1  | 量的研究の基礎(1) | 量的研究の理解①<br>研究デザイン, 研究仮説の立て方, 対象の選定と標本サイズ   |    |      | 山本弘江         |
|      | 2  | 量的研究の基礎(2) | 量的研究の理解②<br>収集するデータの検討, 尺度の選択と使い方, データ収集方法  |    |      | 山本弘江         |
|      | 3  | 量的研究の基礎(3) | 量的研究の実際①<br>調査研究: 標本サイズ, 記述統計の示し方, 統計手法   |    |      | 山本弘江         |
|      | 4  | 量的研究の基礎(4) | 量的研究の実際②<br>尺度を用いた研究論文: 尺度の信頼性・妥当性, バイアスと交絡因子   |    |      | 山本弘江         |
|      | 5  | 量的研究の基礎(5) | 量的研究演習: データセットの作成方法, 記述統計量の算出   |    |      | 山本弘江         |
|      | 6  | 生物統計の基礎(1) | 推測統計学<br>点推定と区間推定, 信頼区間, 統計学的検定の仕組み, 有意水準, p値, $\alpha$ エラー, $\beta$ エラー  |    |      | 大橋 渉         |
|      | 7  | 生物統計の基礎(2) | 各種検定方法<br>2群比較のための解析手法, パラメトリック, ノンパラメトリックの意味, t検定, Mann-WhitneyのU検定, 分割票の検定 ( $\chi^2$ 乗検定, Fisherの正確検定), 対応のある(paired)データの意味と検定方法 (paired t検定, Wilcoxonの符号付順位和検定) |    |      | 大橋 渉         |
|      | 8  | 生物統計の基礎(3) | 多群の検定と相関<br>多群比較, 多重比較, Pearsonの積率相関係数, Spearmanの順位相関係数, 相関関係と因果関係  |    |      | 大橋 渉         |
|      | 9  | 生物統計の基礎(4) | 回帰分析<br>説明変数, 目的変数, 回帰分析の目的, ロジスティック回帰分析, 単回帰分析, 重回帰分析の基本と結果の解釈について   |    |      | 大橋 渉         |
|      | 10   | 質的研究の基礎(1) | 質的研究のデザインと協力者へのアクセス   |    |      | 高橋佳子         |
|      | 11   | 質的研究の基礎(2) | インタビューによるデータ収集と倫理的配慮<br>本質を問う質問の方法  |    |      | 高橋佳子         |
|      | 12   | 質的研究の基礎(3) | 帰納的分析方法   |    |      | 高橋佳子         |
|      | 13   | 質的研究の基礎(4) | 演習①: 半構造化面接の方法  |    |      | 高橋佳子         |
|      | 14   | 質的研究の基礎(5) | 演習②: 質的データの分析方法<br>コーディングからカテゴリー化へ  |    |      | 高橋佳子         |
|      | 15   | 方法論の適応     | 授業を通して得た知識を活用し、自身の研究課題および方法についてまとめる。プレゼンテーションとディスカッション  |    |      | 高橋佳子<br>山本弘江 |
| 学修方法 | 1 最新の知見に基づいて講義を構成するため、講義前には講義内容に関連する書籍・文献を読み込んで授業に臨むこと(90分程度)。<br>2 講義後は、講義内容やディスカッションした内容を振り返り、復習しておくこと(90分程度)。<br>3 授業では、学生のプレゼンテーション、ディスカッションを通して学修を深める。<br>4 授業内容の質問、プレゼンテーション、ディスカッション、レポートについては、全体または個別に、その都度フィードバックを行う。 |            |   |    |      |              |
| 評価方法 | 発表及びレポート(70%), 参加状況(30%)により評価する。<br>(レポートは各教員が提示する課題で作成する。)  |            |   |    |      |              |

|                      |  |
|----------------------|--|
| <p>テキスト<br/>・参考書</p> | <p>参考書：その他，随時紹介する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 S. Grove, N. Burns, 黒田裕子他(訳)：「バーンズ&amp;グローブ 看護研究入門 原著第7版 —評価・統合・エビデンスの生成」，エルゼビア・ジャパン，(2015/9)，9,720円(税込)</li> <li>2 D.F. ポートリット&amp;C.T. ベック，近藤潤子監修：「看護研究 原理と方法」第2版，医学書院，(2010/3)，10,260円(税込)</li> <li>3 鈴木淳子：「質問紙デザインの技法第2版」，ナカニシヤ出版，(2016/7)，3,024円(税込)</li> <li>4 木原雅子，他：「医学研究のデザイン」(第4版)，メディカル・サイエンス・インターナショナル，医学書院，(2014/9)，5,076円(税込)</li> <li>5 柳井晴夫，他：「SPSSによる統計データ解析—医学・看護学，生物学，心理学の例題による統計学入門」，現代数学社，(2006/04)，2,526円(税込)</li> </ol> |
| <p>履修上の<br/>注意点</p>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各単元の前後について，各60分以上の準備学修が必要である。</li> <li>2 授業に関する質問等には，授業内で全体に共有できるようにフィードバックする。</li> <li>3 発表およびレポートについては，発表後に授業内でフィードバックする。個別にフィードバックする必要のあるものについては，個別にフィードバックを行う。</li> <li>4 主体的な学修態度で臨むことを期待する。</li> <li>5 不測の事態で対面授業ができない場合は，遠隔授業に変更する場合がある。</li> </ol>  |
| <p>オフィスアワー</p>       | <p>高橋佳子：月曜日 16:30～18:00 看護学部棟4階 N451 研究室<br/> 山本弘江：水曜日 16:30～18:00 C棟5階 個人研究室1<br/> ※ 兼任・非常勤講師については別紙で配布する。</p>  |